

○この度、「同志社時報」がより手軽に講読できることになり、期待しています。将来的にはOB、現役、関係者のみならず、広く世の中に普及するようなものであつて欲しいと思います。

各大学とも生き残りに必死なようです。が、時報のような「発信するソフト」を地道に広めていくことも大切な要素だと感じています。HPとは一味違う伝達手段として、頑張つていただきたいと願うばかりです。

(大阪府・細見康裕)

○同志社時報118号の記事の中で、座談会「同志社と社会とのコラボレーション」を興味深く読みました。中でも、工学部の三木教授が言われている「学生の背中を押してやる」スタンスは、非常に良いことだと思いました。

言うまでもありませんが、スポーツでも仕事でも「気持ち」の占めるウェイトは大きく、やる前から「ダメだ」と思ってしまう。

(京都府・服部泰夫)

ていては、できる訳がない。是非、こうした「学生の背中を押して」前向きにする教育(環境)を広げていただきたいと思います。感じました。

(長野県・間瀬敏彦)

○昨年11月7日、ホームカミングデーに参加して、当誌をいただき、種々興味を持って読みました。今後の母校の様子を知りたくて、次号よりの継続講読を希望いたします。

なお、格付けの(AA+)取得はOBの一人としても喜ばしく思っています。益々のご努力を乞います。

(愛知県・八塚義包)

○学生時代から40年、「同志社時報」を愛読しています。新島襄先生、同志社の歴史や伝統を学び、恩師の消息を知らせてくれました。

同志社を卒業して35年、大阪市役所で社会教育主事として「生涯学習」に従事し、定年を迎えて、近代日本史の研究を再開しました。これからは誌面を一層充実させ、母校と校友のパイプ役をお願いいたします。

(京都府・服部泰夫)

○「新島襄の言葉」を楽しみにしています。長寿の故、結婚式などのスピーチをさせられますが、紹介された先生の言葉を例に人格形成、人間性を話しております。

(山口県・内田哲郎)

○定年退職したかつての職場の同期、昭和一桁生まれ約10人の仲間と2ヵ月に一度、「飲み食い語る会」を持つている。

先般の会合では、熊本出身の石光真清の日記四部作品に話が及んだ。彼の日記一巻目「城下の人」には、従兄の浮田和民、下村孝太郎などの熊本バンドや同志社病院が断片的に登場する。次回は私に熊本バンドの話が託され、資料を作った。資料を作るのに大いに役立ったのは、書齋に重ねられた「時報」を紐解くことであつた。その際、昔のものはかなり分厚く、新島先生や同志社草創期の記事が多いと感じた。古き時代、新しい時代、いずれにも偏重しない編集は大変だ。しかし、「時報」はすでに「同志社カラー」が定着していて、頼もしい限りである。

(兵庫県・田中康徳)

※敬称略

お知らせ

第27回Neesima Room企画展

「同志社とアーモスト」展

同志社大学の国際交流は、アーモスト大学との交流に始まります。新島襄が留学(1867年から1870年)して以来の繋がりで、学生や教職員の留学、研修に加えて、「同志社アーモスト館」(1932年竣工)を拠点にさまざまな交流がなされてきました。今回、両大大学の太い絆を実感していただくために企画展を開催いたします。



新島襄〈アーモスト大学卒業アルバム、1870年〉

〈期 間〉2005年4月1日(金)~2005年8月31日(水)

〈時 間〉9:30~17:00 (日曜日は10:00から、土・日曜日および8月の平日は16:00まで)

〈会 場〉Neesima Room

(同志社大学今出川キャンパス・ハリス理化学館2階)

〈閉室日〉祝日、4月29日~5月5日、8月15日~19日、8月の土・日曜日

〈入場料〉無料(事前申し込み不要)

〈お問い合わせ先〉同志社社史資料センター Tel. 075-251-3042

E-mail: ji-shasi@mail.doshisha.ac.jp

『同志社時報』ご愛読について

幅広く多くの方々に読んでいただくために、118号から購読料が無料(送料のみ必要)になりました。定期購読ですでお支払いいただいた購読料は、送料に充当させていただきます。

●定期送付のお申し込みを受け付けています

新規・継続の定期送付のお申し込みを受け付けています。巻末はがき、またはお電話、FAX、e-mailで広報課までお知らせください。

10月、4月の年2回発行。送料(1冊につき切手200円)のみご負担ください。時報発送時に改めて切手送付のお願いをさせていただきます。

●バックナンバーのお申し込みも受け付けています

広報課まで巻末はがき、またはお電話、FAX、e-mailでお知らせください。在庫の有無についてご連絡いたします。

なお、本号より春季号の発行日付が、4月1日に変更されました。

●ご意見・ご感想をお聞かせください

皆様から親しまれる「同志社時報」にするために、ご意見・ご感想・企画案をお寄せください。巻末はがきをご利用いただいても結構です。ご意見・ご感想は、誌面に掲載させていただく場合があります(掲載させていただいた場合、記念品をお送りします)。

ご意見・ご感想・お問い合わせ・お申し込みは…

同志社大学広報課 同志社時報係

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

電話 075(251)3120 FAX 075(251)3080

e-mail: ji-koho@mail.doshisha.ac.jp